

株式会社ノヴァ



1985年：天然酵母のパンをつくるベーカリーとして創業。
酵母の原料となる農薬不使用のドライフルーツを自ら調達・
確保。

1999年：有機ドライフルーツ、有機ナッツの輸入製造販売へ業務転換。

2001年：有機JAS認証取得。

2021年：国内約1,300軒のこだわりのベーカリーへ有機原料供給及び
生協などへ袋詰め有機商品、加工商品を販売。





オーガニック（有機）とは

- × 人間のために、農薬や化学肥料を使用せず食物をつくること
- ◎ 次世代のために、地球環境を守っていくこと



結果として安心、安全な食物を人間が享受している

○オーガニックの原則

生態的原理

- ・ 環境、生態系の保全

健康の原理

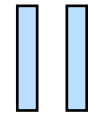
- ・ 生態系全体の健康（土壌、家畜、人間）

公正の原理

- ・ 関わるもの全ての公正（農業者、労働者、流通業者、販売者、消費者）

配慮の原理

- ・ 次世代、未来への配慮



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

まさに、

つまり、

ノヴァの事業そのものがSDGsである由縁

オーガニック（有機）とSDGs



SDGsの三階層のうち最重要と言える「生物圏」を守るものがオーガニック

- 地球があり続けるために必要不可欠な要素。
- 豊かな環境や安定した気候があって初めて、人間の社会生活、経済活動が成立。
- 社会圏、経済圏を支えるため、土台となる「生物圏」の目標達成が重要。



オーガニック（有機）とSDGs



環境

社会

経済



・地球環境の保全

- ・生態系保全
- ・気候変動改善
- ・人間生活の土台

・気候変動改善による自然災害発生抑制
(貧困人口増加原因の自然災害や感染症防止)

・農業生産量、農業生産力の向上、土壌改善

- ・フェアトレード
- ・労働者への対価

・持続可能な資源を通して、持続可能な社会を形成

今後の取り組み — 受動的SDGsから能動的SDGsへ —



環境

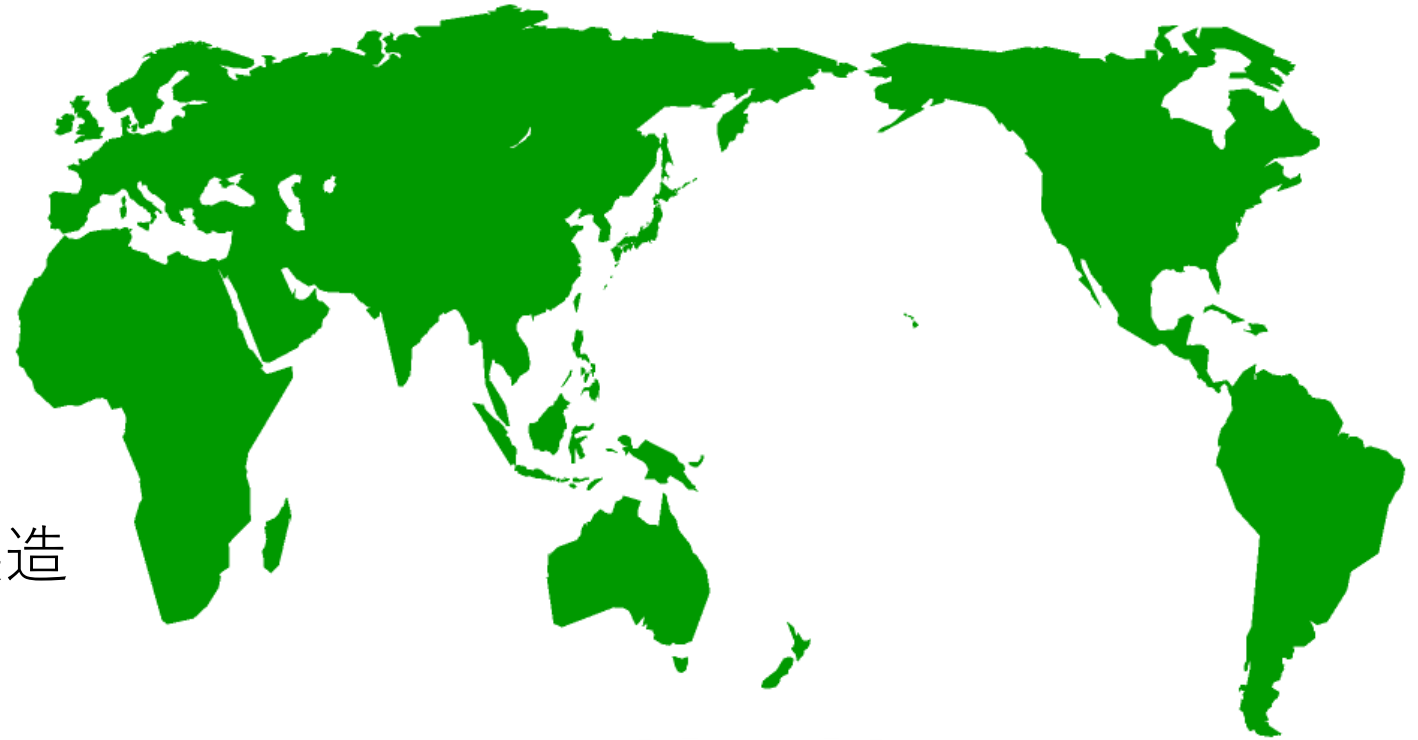
① 有機食品の取り扱い量増加による有機生産者買い支えの実現拡大

- ・ 2020年：200t
- ・ 2030年：10%増（220t）

② 規格外原料の利用拡大

- ・ 2020年：1t
- ・ 2030年：10%増（1.1t）

⇒ 2021年6月取得見込の酒類製造原料としての活用



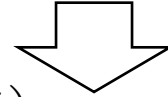
地球規模のSDGsの展開

今後の取り組み — 受動的SDGsから能動的SDGsへ —



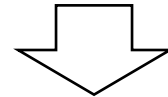
社会

○農家への有機JAS認証取得サポートの運用（既にスタート済み）



農林水産省（2021年2月発表）

“2050年までに有機農業面積を全農地の25%へ拡大”



実現のために必要なこと

現場の声（有機農家より）

生産・物流・販売拠点の大幅な増強

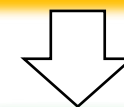
「有機農産物を専門に売買する市場の開設が近道！」



2050年の有機農業を支える、
今現在若手の有機農業従事者の障壁の解消

○資金面：有機農業に必要な施設（ビニールハウス等）、
機械（トラクター等）のリース契約

○売り先の確保：国産有機小麦の播種、買取契約、他



「埼玉北本有機市場」
の構想

有機食品メーカー × 農業
で新しい価値を創造する

